

事例 ペレットストーブ



家族が増えました！

お話を聞きした人

松井稔さん

京都市在住

オール電化の家 消費電力を削減したい

11年前に家のリフォームでオール電化にし、スイッチ操作一つで何事もできる快適な生活でした。しかし原発事故後、電力の多くを原発に依存することに疑問を持ち、原発反対と言うなら自分自身が行動できる電力使用量の削減方法は何かと考え、ペレットストーブを導入された。また、奥様が京都市右京区京北のペレット工場を見学したことも導入に弾みがついたとのこと。

部屋にマッチしたストーブ

毎朝火を入れるのが松井さんの仕事の始め。部屋が暖かくなるのに20分ほどかかるが、ガラスの窓から炎が見えてくると実際以上にほわり暖か味を感じるとのことです。リビングの隅に収まったペレットストーブは、部屋全体の雰囲気にもマッチしています。すっきりしたデザインも気に入っているようです。

愛おしい家族の一員

子どもが自立して夫婦だけの生活だったのが、このストーブを導入したことで、また家族が増えた感じだと言う。使用説明書を読む限りはそんなに手がかからないようですが、毎日念入りに手入れをされています。まだ使用開始して1ヶ月あまり、燃焼受け皿に灰が溜り易いとか、着火時に煙が出るなど汚れの要因はありますが、だからこそきれいに手入れしてあげねばと掃除用具や着火の手順を色々工夫するなど、かわいくて仕方ないようです。奥様もその様子ににっこりと眺め、「あなたに世話を任せよう」と安心されています。使用前の燃料ペレットを篩にかけ、細かいものを取り除くことも上手に使う方法だそうです。

電気使用量の削減は？

使用開始1ヶ月の実績しかありませんが、前年同時期に比べ、電力消費量は17%削減できています。1日7～8時間使うとして、燃料費(ペレット代)は8千円程度だろうと見えています。電気代の削減でカバーできませんが、電気使用量を減らしていることに満足しています。

ペレットストーブ利用のために

煙がでないと言われますが、着火時に一時的に少し煙がでます。そこで排気口の位置をどこにするか、隣近所に迷惑にならないかのチェック、さらに、燃料のペレットは現在どこでも手に入る状況にはなっていないので、調達の手間を考えまとめ買いしたくなり、保管場所確保も大事です。

取材後記 ■ 城山 徹夫

取り入れたいとの熱い思いをお持ちだったことを少しでも伝えられ、我が家にも設置したいと考えておられる方の肩をポンと叩くことができるかなと取材させていただきました。

新入りのペレットストーブがかわいくて仕方がないと思っておられる様子を、当方も暖かいものを胸に感じた取材のひとつでした。

詳細情報

【機器の種類】

メーカー：(株) トヨトミ / 型式：ペレット Mini-A / 購入年：2013年

【設置にかかったコスト】

51万円 (消費税別)
補助金 17万円 (京都市 費用の1/3)

【ペレットの種類】

バーク (原料は国産)

【ペレットの入手方法】

メーカー直送

【ペレットの保管方法】

まとめ購入で物置にて保管

【一冬あたりの燃料消費量及び燃料代】

1ヶ月あたり 8000円程度
(1日7～8時間使用して)

【居住形態 (戸建て or 集合住宅)】

戸建て

【暖房する空間の広さ (畳何畳分)】

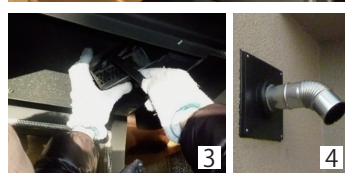
8～9畳



1



2



3



4

- 1) ペレットストーブ
- 2) ストーブと松井さん
- 3) 燃焼受け皿のお掃除
- 4) 外に排気口を取付け